

桑名市議会議長
富田 薫 様

第1班 班長 伊藤 研司

議会報告会実施結果報告書

開 催 日 時	令和 6 年 6 月 7 日（金） 1 8 時 3 0 分 ～ 2 0 時 0 0 分				
開 催 場 所	柿安シティホール				
出 席 議 員	班 長	伊藤 研司			
	司 会	富田 薫		記録者	柴田 理恵
	森 英一		水谷 憲治		多屋 真美
	市野 修平				
参 加 人 数	15 人				
議会報告の概要	・ 議会だより（6 月 1 日号）の掲載内容の報告 ・ 「自然災害に備えて」等をテーマに意見交換 ・ 質疑応答				
主な意見・要望	・ 災害対応や防災に関する桑名市への要望 ・ 多度学園をつくるにあたっての跡地活用について、 しっかりと市民の声を聴いてほしい、協議の場をつくってほしい ・ 神馬の湯の補助を出してほしい ・ 市道、U 字溝のふたを付けてほしい				
備 考					

議会報告会記録

【第1班】

(1 / 3)

開催日時	令和 6 年 6 月 7 日 (金) 18時30分 ~ 20時00分	
開催場所	柿安シティホール	
参加人数	15 人	
議会報告に対する質疑応答	質 問	回 答
	・南海トラフ地震で、液状化が懸念されるのに、耐震化して大丈夫か。堤防の強度は大丈夫か。	津波がやってくる 90 分の間に高い所へ逃げる。 耐震はしっかりやってもらったほうがよい。
	・桑名駅東、駅前トイレの改修、今年度中とは、いつ頃なのか。	今年度に予算が付き、洋式化に改修。 今年度中(3月)ではあるが、年内(12月)までの完成予定で進めている(後日、都市整備部に確認済)。
	・衛星携帯電話の普及を桑名市は行っているか。	市の災害対策用として、衛星電話を保有している。
	・水道管の一部として普段は使われ、震災等が発生した場合には、緊急遮断弁が作動して、貯水され、飲料水などに使用できる「耐震性貯水槽」は桑名市にあるか。	地下の水道管ではなく地上ではあるが、「耐震性貯水槽」と同様、水道管を通じて、常に清浄な水が流れている長島地区災害対策用貯水槽「災害用飲料水兼用貯水槽」が、同じ役割で該当する(後日、水道部に確認済)。

議会報告に対する 質疑応答	質 問	回 答
	・ 学校の空き教室に食料の備蓄はできるのか。	現在、星見ヶ丘の備蓄倉庫に集約している。
		必要な際には、ここから分配する方式を採っている。
	・	
	・	
	・	
	・	

参加者からの 意見・要望等	・津波情報のリアルな防災マップ(ハザードマップ)をつくってほしい。
	・防災情報、特に新しい情報がほしい。研修の案内等を含め、聞きにいかなくとも、しっかり情報発信してほしい。
	・ハザードマップの文字が小さく読みにくい。一目で見てわかるようにつくってほしい。震災が起きる時、市内のどこに いるかわからないから、住んでいる所だけでなく、市内の行動範囲内はしっかり把握できるようにしておきたい。
	・メディアライブは、避難所として使えるのではないか。
	・障がい者施設で、非常食は備蓄している。ハザードマップの赤いエリア(液状化該当)にある。 日頃の訓練は、健常者を含め「避難所開設訓練」からやっていくのがよいのではと思う。
	・多度学園をつくるにあたっての跡地活用について、市民に開かれた協議の場を。決定する前に協議をすることが必要。 意見を出す場をつくってほしい。
	・神馬の湯、例えば、65 歳以上は半額等、もう少し補助を出してほしい。
	・乾パンだけでなく、非常食・ミルク・おかゆも保存期限も長くなっているので、備蓄してほしい。
	・久米地区の市道、U字溝のふたを付けてほしい。

桑名市議会議長
富田 薫 様

第 2 班 班長 南澤 幸美

議会報告会実施結果報告書

開 催 日 時	令和6年 6 月 7 日（金）18時30分 ～ 20 時00分				
開 催 場 所	多度まちづくり拠点施設 第1、第2教室				
出 席 議 員	班 長	南澤 幸美			
	司 会	倉田 明子		記録者	藤本 直子
	松田 正美		飯田 尚人		渡辺 仁美
	永野 元康				
参 加 人 数	1 2 人				
議会報告の概要	テーマ 「自然災害に備えて」 ・開会挨拶 ・自己紹介 ・議会だよりの説明 ・質疑応答（議会だより・その他） ・意見交換（災害について・その他）				
主な意見・要望	・別紙参照				
備 考					

	質 問	回 答
議会報告に対する質疑応答 テーマ「自然災害に備えて」	・空き家は倒壊の危険もあり、台風の時には実際雨戸が実際に飛んできた。災害時の空き家に対する対策は必要である。空き家バンクの登録など市としても対策してはいただいているが、災害時の対策もお願いしたい。	空き家問題は、都市経済委員会の政策提言で調査研究しています。
	・避難所の中には廃校になる学校も含まれている。避難所としては考えてもらえるのか？	廃校になる学校が避難所であるという認識はある。市として今後どうしていくか検討している。
	・大規模災害時に避難所での防災活動において、地域、行政、ボランティアとの連絡調整を担う防災コーディネーターを社協が東員町では養成していると聞いたことがあるが、ぜひ桑名市でも取り組んでほしい。	市の担当課にお伝えします。
	・多度学園は断層の上にあり避難所として大丈夫なのか。市は大丈夫というが不安である。	市の担当課にお伝えします。
	・多度体育センターは崖が崩れるので避難所ではなくなったが、また避難所に戻ると聞いた。本当か？	
	・海津市の避難所が多度になると聞いている。どうするのか？	
	・縁故避難はすごくいいことである。ようやく桑名市も推奨してくれているが、もっと推奨してほしい。	

	質 問	回 答
その他（質疑応答・意見交換）	・ ○○拠点施設だと外国人には施設名がわかりにくい。 市民会館も名前が変わってしまうので外国人に説明しにくい。ニックネーム（例えば、ゆめはまちゃん）などを施設名に付けてはどうか？	市の担当課にお伝えします。
	・ 市が行っている「ソーラーパネル共同購入」について。 市は議会に対してどういういきさつで取り組むことになったのかについての説明の内容を知りたい。	県からの提案で取り入れたと聞いている。 詳細については確認してホームページに載せたい。 ⇒市の回答
	又ソーラーパネルは中国製の物なのかについても知りたい。チラシ等を見ても記載されていない。	令和３年度に桑名市が目指すゼロカーボンシティに向けた取り組みの一環として、地球温暖化対策に貢献し、災害時の電気の確保にも役立つ為、事業者を選定事業し開始した。
		令和６年度の太陽光パネルは中国で製造されており、共同購入事業に限らず中国製のパネルが幅広く流通している。
	・ 市が市民に行った学校再編へのアンケートについて ７割再編に賛成したということですが、アンケートでは市民に対し多度学園にプールなし、給食室なしと説明がなかった。説明をしてから再度市民に問うていただきたい	市の担当課にお伝えします。
	・ 多度学園には給食室や学童がない。この形が今後の市内の小中一貫校のモデルになるのではないと思う。 多度中小の跡地にはグラウンド、駐車場ではなく、学童保育と給食室を作ってほしい。	市の担当課にお伝えします。

参加者からの 意見・要望等	・ 事項書を作成してほしい。
	・ 委員会で行政視察に行った話や委員会で話し合ったことなどを報告してほしい。
	「こどもの権利条例」策定に際し、教育福祉委員が東員町に視察に行かれたことを新聞で読んだ。その報告も聞きたい。
	・ 水道の問題（PFOS 及び PFOA）について
	国の基準をオーバーした時になぜ速やかに水を止めてくれなかったのか？保障はしてくれるのか？責任はどこにあるのか？教えてほしい。
	・ 市に対しての要望・質問に対してははっきりとした答えを市民に出してもらえるように議員は市に働きかけてほしい。

桑名市議会議長
富田 薫 様

第3班 班長 愛敬 重之

議会報告会実施結果報告書

開 催 日 時	令和 6 年 6 月 7 日（金） 1 8 時 3 0 分～ 2 0 時 0 0 分			
開 催 場 所	長島まちづくり拠点施設			
出 席 議 員	班 長	愛敬 重之		
	司 会	成田 久美子	記録者	近藤奈歩・太田国男
	伊藤 恵一	森下 幸泰		
参 加 人 数	1 6 人			
議会報告の概要	・ 議員自己紹介 ・ 市議会だよりの説明 ・ テーマ「自然災害に備えて」について意見交換 ・ テーマ以外の意見交換			
主な意見・要望	・ 避難所となる東名阪には南北 6 ヶ所ずつ扉があるが使えるのは、4 か所。避難扉を暗くても分かりやすくできないか。 ・ ハザードマップの地図が小さく分かりにくい、配りっぱなしでなく説明会をお願いしたい。 ・ まちづくり協議会はできたが、なり手確保、成功事例を紹介してほしい。			
備 考				

議会報告会記録

【第3班】

(1 / 1)

開催日時	令和6年6月7日(金) 18時30分～20時00分	
開催場所	長島まちづくり拠点施設	
参加人数	16人	
議会報告に対する質疑応答	質 問	回 答
	●おむつの回収とサブスクリプション導入事業費について	
	①サブスクの意味について。	①サブスクは利用したい人が一定期間、一定額で商品やサービスを利用できる仕組みです
	②予算の組み方がおかしいのでは。	②個人と事業者の直接契約月額 2,290 円で個人負担(担当課)
	③おむつなんて自分の家庭でやるべきなのに、市民負担の中からやるのはおかしい。子どもがいない人がなぜ負担しなければならないのか。	③サブスクは個人負担なので市の負担はなしです。 おむつ回収のためのゴミ箱設置等の市の予算790万円(担当課)
	●こどもの権利条例について	
	①ワークショップやアンケートで子どもからどんな意見がでたのか。	①休み時間を長くしてほしい、通学路を安全にしてほしい、地域の公園を掃除する日を作りたい、など様々な意見がありました
	②対象者は何歳までか。会場の皆さん(議員)はわかっているのか。	②まだ作成している途中ですが、18歳までと、それに等しく権利を有する人たちとしています。こども基本法では年齢で区切っていません。
	③こどもの意見だけでは偏るのではないか。	③こども支援団体の意見なども聞いています。
	④長寿認定こども園の虐待の件で、桑名市に対し教育福祉委員会で謝罪を求める議員が少なく、この委員会が条例をつくっていいのか。	④取り組みを始めた直後に長寿認定こども園において悲しく許すことができない事件が発生しました。そのことを議会として重く踏まえ、こどもの権利を守っていくため、この条例を作っていこうと取り組んでいます。今後はさらに良いものになるように、今日いただいた意見もしっかりと受け止めていきます。
	要望	
	①こどもに関わっている人の意見を聞くことも必要だが、当事者のこどもの意見をもっと聞いてほしい。	

参加者からの 意見・要望等	●テーマ「自然災害に備えて」について意見交換及び要望
	●ハザードマップについて
	①4万分の1や、5万分の1の地図では見えない。地図中で自分の家がどこにあるのかわからない。以前は、地区ごとになっていた。配りっぱなしではなくて、説明会を開催してほしい。
	⇒ハザードマップを少しでも皆さんに分かりやすくするように協議していきたいと考える。(議員)
	自治会単位で申し込みをしてもらえれば説明会を開催することは可能。個人の場合は窓口に来ていただければ対応可能。(担当課)
	②ハザードマップは南海トラフ地震を意識している。長島は全体的に液状化されているが、液状化はどれくらいの震度から起こるのかなど示してもらえないか。
	⇒車では逃げられないと聞いている(議員)
	液状化危険度は可能性を示すものなので、震度がどれくらい以上で起こるものなのかわからない。(担当課)
	テーマ要望③ハザードマップを常に目に付くところに置いておけるようにしたい。
	テーマ要望④新聞に断層の事が書いてあった。ハザードマップに活用してほしい。
	●要支援者名簿について
	①要支援者名簿が配布されているが、名簿を活かすにはどうしたらよいか。
	⇒名簿に登録している人のうち、避難支援等関係者への情報提供の同意があった人で、災害時に避難の必要性が高いにもかかわらず、支援者がいないと避難が困難な人を優先して「個別避難計画」の策定に取り組んでいます。(広報くわなより)
	●地域防災計画について
	①災害対策基本法により策定することになっている。
	桑名市の分でも1000ページくらいありHPでは読みづらい。市民が読めるように冊子にして、図書館にでも置いてもらえないか。
	⇒防災・危機管理課に提案したい。(議員)
	冊子ではなくファイルになっているものがある。防災・危機管理課に来ていただければいつでもお見せすることができる。また、貸出も可能。(担当課)

参加者からの 意見・要望等	テーマ要望●長島の防災について ①長島は伊勢湾台風で水の被害を受けた。台風・地震では津波の被害を受ける。長島は全域液状化する。バスでは避難できない。長島はもともと水の中にあった土地のため地盤が緩く、議論だけでは助からないのでお願いしたい。 テーマ要望●東名阪の法面の避難所について ①12カ所ある中、使い勝手がよいのが4カ所しかない。使えるのが4カ所だということを公表し4カ所に目印をしてほしい。避難所へ行く訓練をきちんと実施したい。
	●その他の意見・要望について
	●二元代表制について
	①桑名市では、二元代表制はきちんと機能しているのか。 ⇒機能している。
	●多度学園通学路について
	①バス通学と徒歩通学に分かれているが、国道258号線を横断することどもたちがいる。大型車が多く危険なので歩道橋を作ってもらえないか。 ⇒議論していく 通学路については平面交差を基本としている。(担当課)
	●まちづくり協議会について
	まちづくり協議会の成功事例を紹介してほしい。
	●通学路について
	こどもたちが学校に行くのが楽しみになるように、通学路の危険を除去してほしい。
	以上

桑名市議会議長
富 田 薫 様

第 4 班 班長 伊藤 真人

議会報告会実施結果報告書

開 催 日 時	令和 6 年 6 月 7 日（金） 18 時 30 分 ～ 20 時 00 分				
開 催 場 所	ひだまりの丘複合施設ぽかぽか 大研修室				
出 席 議 員	班 長	伊藤 真人			
	司 会	太田 誠		記録者	服部喜幸・伊藤知美
	畑 紀子		近藤 浩		
参 加 人 数	10 人				
議会報告の概要	・ 議員自己紹介 ・ 市議会だよりの説明 ・ 市議会だよりの説明に対する質疑応答 ・ 自然災害に備えての意見交換 ・ その他の意見交換				
主な意見・要望	・ 別紙参照				
備 考					

議会報告会記録

【第 4 班】

(1 / 5)

開催日時	令和 6 年 6 月 7 日 (金) 18 時 30 分 ～ 20 時 00 分	
開催場所	ひだまりの丘複合施設ぽかぽか 大研修室	
参加人数	10 人	
議会報告に対する質疑応答	質 問	回 答
	・感震ブレーカーとは、どのようなものか？また、どこで購入できるのか？	・地震の振動を感じると電気を遮断するものです。ブレーカーに外付けするもの、コンセントにつけるもの、重りがついている簡易タイプなど色々あります。外付けタイプが 8 万円ほどでその半額 4 万円が上限となっています。重り式は安価で、電気屋で購入出来ますが、詳しくは防災・危機管理課までお問合せ下さい。
		なお、ブレーカー自体が感震となっているものは高価です。
	・議会だよりに、担当課の問い合わせ先を記載して欲しい。	・貴重な意見をありがとうございます。

	質 問	回 答
テーマ「自然災害に備えて」に対する質疑応答（意見交換）	・伊勢大橋の高さは、津波の影響を考慮して現在よりも5mほど高くしている。しかし、地震により堤防は下がるので津波の高さより低くなり危険である。堤防の高さをチェックして欲しい。	・堤防を上げたため橋も高くしています。木曽三川の河川管理者である木曽川下流河川事務所では、津波の影響とその対策工事についてホームページにおいて掲載していますのでご覧下さい。なお、三重県でも海岸堤防の津波対策を進めています。
	・伊勢大橋を早く整備すべきである。	・現在、上部工である橋げたを工場製作しているところです。国に対して早期完成を毎年要望しています。
	・長島の人が一斉に桑名に避難できないため、長島にやぐらを作ったり、ショッピングセンター等に避難できるようにすべきである。	・避難タワーが一昨年につくられました。また、東名阪自動車道に避難できるように階段がつくられています。イオン桑名の駐車場を避難所として利用できるように協定を締結しています。
	・木造住宅耐震補強への補助の他、命を守るためにはルーム・イン・ルームへの補助もすべきである。	・一般質問で提案しているものの実現していません。担当課へご意見を伝えます。
	・避難場所の備蓄品は点検しているのか？体育館の避難場所での雑魚寝はつらい。簡易ベッドが必要と思うが。	・備蓄品は毎年点検しています。食料品などの備蓄品は2～3日しのげる量を備蓄しており、それ以降は他からの救援物資でまかなうとの考えです。また、ファミリールーム的なしきり、床に敷くクッションマット、組み立て式のベッドがあります。今回の能登半島地震を受けて市の防災計画を見直す予定です。

テーマ「自然災害に備えて」に対する質疑応答（意見交換）	質 問	回 答
	・命があつての避難。まず、自分の命を守るのが重要である と考える。しかし、時がたつと意識が薄れる。子ども、 若い世代に対する教育、啓発活動をしっかり行って欲しい	・自分は大丈夫、という意識を変える必要があると、研修で学 んでいます。継続的な防災研修、啓発活動を当局に求めています。
	・長島町内で避難した人は、その後どうなるのか？	・1次避難後、救助され、2次避難所等に移動することとなり ます。

	質 問	回 答
その他（質疑応答・意見交換）	・この１０年間で議会報告会の内容がよくなった。以前は議員から説明する時間が大部分を占めていたが、意見を聞く時間が多くなっている。ただオンライン議会報告会は、傍聴がダメと言われた。パソコン等を利用できない人でも傍聴できるようにして欲しい。誰でもいつでも意見を出せるように、改革を望む。	・貴重な意見をありがとうございます。
	・多度町南部の工業団地に通じる道路を早く整備して欲しい。県事業であっても市が用地買収できないのか？また、道路が都市計画決定されていても開発が先に行われ、道路整備が遅れている地域が他にもある。	・県道四日市多度線については、議会でも当局へ早期整備に向け度々質問しており、県へ要望しているところです。県道を市が単独で用地交渉・用地買収することはできません。地権者のみなさんのご協力が必須となってくるかと思います。
	・多度の小中一貫校が令和８年４月に開校するが、香取の児童が交通量の多い国道２５８号を渡らなければならぬい。なぜ、歩道橋を作らないのか？地域連携部会など、市民の意見がどれだけ反映されているのか分からない。	・これまでの経緯がありますが、３月議会の答弁では、通学路のルートはまだ決定していないとの事でした。見守り体制も含めて、自治会等の地域内で議論が必要であると思っています。
	・地域連携部会で、道路の安全等について話し合っているが、最後は市が決定するという。おかしいのではないかと？	・決定することには責任が伴います。地域連携部会の意見を尊重して、市が決定すると理解しています・

	質 問	回 答
その他（質疑応答・意見交換）	・多度の小中一貫校、小学生の通学はすべてマイクロバスなのか？	・学校から自宅までの直線距離が半径 1.5 k m の児童は徒歩と決められました。
	・小中一貫校を多度の後、桑名市全体で進めるというが、こどもの権利条例を 1 2 月に制定予定の中、この小中一貫校の整備を子どもがどのように思うのか聞いて欲しい。	・貴重な意見をありがとうございます。

